

平成 30 年 5 月 31 日

各 位

株式会社 第四銀行
だいし経営コンサルティング 株式会社

株式会社 脇坂園芸への「だいし食・農成長応援ファンド」による出資について

株式会社 第四銀行（頭取：並木 富士雄）と、だいし経営コンサルティング 株式会社（社長：今泉 彰彦）は、共同で設立した「だいし食・農成長応援ファンド」により、株式会社 脇坂園芸（代表取締役：脇坂 裕一）に出資いたしましたので、お知らせいたします。

同社は、エディブルフラワー（食用花）の生産から、加工・販売までを行う 6 次産業化事業体であり、本ファンドで調達した資金は地域の廃校を活用した植物工場の本格稼働に伴う運転資金に充てられます。

第四銀行グループでは、これからもコンサルティング機能の発揮により、事業者の皆さまをサポートし、新潟県の地方創生実現に貢献してまいります。

※「だいし食・農成長応援ファンド」

「新潟県内の農林水産物を活用した事業」を行う事業者を対象とし、新潟県の基幹産業であり、さらなる成長が見込まれる農業・食品産業の高付加価値化を幅広くサポートする商品

記

1. 投資案件の概要

投資先名	株式会社 脇坂園芸（代表取締役：脇坂 裕一）
所在地	新潟県阿賀野市境新 209
出資額	3,000 千円
企業概要	<ul style="list-style-type: none">・ 観賞用のほか、結婚式場やレストラン等の料理に彩りを添えるエディブルフラワーを年間 30 種類程度、生産・販売する花卉業者。・ 加工直売所「SOEL（ソエル）」において、エディブルフラワーを利用し、彩り鮮やかなクッキー等に加工し販売を行う。さまざまな加工品は贈答品やノベルティとしてインターネット等での受注も行う。・ 本格稼働する植物工場は、地元業者の有志が集まる「阿賀野ドリームプロジェクト」で廃校の一部を活用し作り上げたオリジナル設備。・ 植物工場稼働により作業の効率化・簡素化をはかるとともに、阿賀野市や社会福祉法人と連携することで障がい者を含めた地域の雇用を創出。

2. 投資決定のポイント

当ファンドを運営するだいし経営コンサルティング 株式会社では、以下のポイントを中心に総合的に評価し、投資を決定いたしました。

- ・ エディブルフラワーの密閉型完全人工光型植物工場の本格稼働により、①無農薬で病害虫の被害を防止、②生産コストを抑えながら安心・安全な商品を生産、③季節を問わない安定した生産を行うことが可能となり、他社との差別化が可能であること。
- ・ 当社の成長が阿賀野市の活性化や地方創生に資する事業であること。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

第四銀行 コンサルティング推進部／白井 電話025(229)8180
だいし経営コンサルティング／石井、諸橋 電話025(226)7605